

報告

第 13 回北東 3 支部技術士交流研修会 in 盛岡

テーマ「地域活性化に向けた技術者の取り組み」

森 隆 広

1. はじめに

第 13 回北東 3 支部技術士交流研修会は、東北支部が担当し、日本技術士会の高橋会長をお招きし、2010 年 11 月 12 日盛岡市の「プラザおでって」のおでってホールにて開催されました。因みにこの“おでって”とは、盛岡弁で“おいでください”という意味です。研修会には北陸、東北、北海道の各支部から総勢 67 名の方々が参加し、北海道からは発表者である寺島技術士、対馬技術士の 2 名の他、斉藤支部長、事務局（大谷事務局長、森、植村事務局次長）、北越幹事、中村幹事の合計 8 名が参加いたしました。

以下、研修会等の内容について報告します。

2. 研修会の概要

(1) テーマ

今回は「地域活性化に向けた技術者の取り組み」をテーマに開催されました。

(2) 挨拶

最初に東北支部の吉川支部長が演台に立ち、岩手県技術士会の協力の下、松尾芭蕉が奥の細道の旅で訪れた岩手県、そして石川啄木の誕生地である盛岡市にて開催されることを喜ばしいと挨拶されました。

続いて、来賓として高橋会長が挨拶され、地域に



写真-1 開会の挨拶をされる吉川東北支部長

根ざした活動を通じて技術士を地域に知らしめたいことから、このような支部活動の盛り上げに感謝を述べていました。そして、社会貢献の柱として以下の 4 点を考えていることを述べられました。

- 地域の子供たちへの理科教育支援
- 防災支援委員会を通じた防災支援
- 裁判所における技術鑑定支援
- 省エネ技術を地域に普及（環境問題、エコ支援）



写真-2 来賓挨拶される高橋会長

(3) 各支部近況報告

挨拶の後、各支部からそれぞれ近況報告がありました。北海道では、会員数が順調に増加している状況が報告されていました。また、北陸支部は今年で



写真-3 大谷事務局長



写真-4 佐藤代表幹事(左)と橋本CPD委員長(右)

40周年を迎え、6月に記念行事を行ったことが報告されていました。

- ・北海道支部：大谷諭事務局長
- ・北陸支部：佐藤直衛新潟県代表幹事
- ・東北支部：橋本正志 CPD 委員長

(4) 基調講演

「平泉の文化遺産の価値と世界遺産への取り組み」と題して、盛岡大学文学部の大矢邦宣教授の基調講演がありました。概要の一部を紹介しておきます。

① 世界遺産登録に向けて

平泉を浄土思想を基調とする文化的景観として登録を申請したが、2008年の第32回ユネスコ世界遺産委員会で登録延期になった。その理由として、文化遺産は根があって動かない物に限定しており、「文化的景観」が認められなかったこと、浄土思想と無関係、不明瞭な資産が含まれていることが挙げられていたことから、助言を受けて展開を明確にしていくという説明がされていました。

② 中尊寺

中尊寺はみちのくの中央(ちょうど北緯39度0分)に建っています。みちのくを平和な世界にしたいと思う藤原清衡が仏国土(浄土すなわち仏の教えによる平和な理想社会)の実現を目指し、建てたものでありました。また、金色堂はなぜ金色か、何のために建てたのかについて、「光」は悪魔を遠ざける、光の呪術で遺体を保存したのではないかと、清衡の遺体は金色堂に保存されており、清衡が56億7千万年後「弥勒下生」の時復活するためではないかという持論を話されていました。

③ 毛越寺(もうつうじ)ほか

毛越寺は、円隆寺、嘉勝寺などからなる総称であり、



写真-5 基調講演される大矢教授

二代目藤原基衡がこの世の浄土のシンボルとして造営されたのではないかという話をされていました。

そのほか、観自在王院、金鶏山、柳之御所跡などについても説明がされていました。

(5) 研修発表

各支部から2編ずつ、合計6編の発表がありました。

- ①【北海道支部】「北海道の港での地域活性化への取組事例」(株)クマシロシステム設計 寺島貴志(建設／水産／総監)
- ②【北陸支部】「溪流や農業用水を利用した小規模水力発電の導入事例」北電技術コンサルタント(株)有賀明(建設)
- ③【東北支部】「道路整備連動型まちづくり計画について～岩手県葛巻町の事例～」(株)福山コンサルタント 片岡俊正(建設／衛生／総監)
- ④【北海道支部】「自然科学教育分科会における出前授業の実施例」北武コンサルタント(株)対馬一男(建設／総監)
- ⑤【北陸支部】「醸造技術を通じた地域とのつながり」新潟工科大学バイオテクノロジー科 岡野康弘(生物工学)
- ⑥【東北支部】「岩手県建設コンサルタント協会まちづくり研究会の活動報告」東北エンジニアリング(株)永田裕一(建設)

今回は、地域内に足を運んで地域住民と一緒にになって地域の活性化に取り組んでいる様々な分野の技術士の事例の発表があり、今後技術士・技術者がどのように地域活性化に向けた取組をしていけば良いか興味ある話を聞くことができました。

最初の寺島技術士の発表は、社会経済情勢の急激な変化に伴い港の役割が多様化し、地域貢献することが求められている、という背景から、災害時対応と旅客船受け入れのためのターミナル計画を策定した事例を紹介していました。具体的には、市民参加により計画策定した事例と、水産・海洋産業の6次産業化による効果の検証事例を紹介していました。地域を対象に水産・海洋の産業連関表を用いて経済効果を出したのは、全国初であり、旅客船入港

による経済効果は 1 隻当たり 1 ～ 2 千万円と試算された結果を報告されていました。



写真－6 寺島技術士(北海道支部)

続く有賀技術士の発表は、小規模水力発電の 2 つの事例を紹介していました。1 つは「山村環境機能向上モデル事業」として行った村内を流れる溪流を利用した村営マイクロ水力発電を消雪ポンプ、防犯灯などに活用した事例。もう 1 つは、富山県営仁工門用水発電所(農業用利用)について、地元住民の理解・協力を得るため更にはコスト低減に工夫し導入した例を紹介していました。ただ、小水力発電は初期投資額が大きいので、全量売電型になり建設補助金がゼロになれば設置は無理になるとの懸念を述べていました。



写真－7 有賀技術士(北陸支部)

3 番目に片岡技術士が、葛巻町国道 281 号(車道幅 5.5 m、路肩 0.9 m)の道路整備について、(a) 地域の実情に応じてワークショップ等を行い具体的な計画作成に反映すること、(b) 計画の実現に当たっては町、商店街、地域住民の方々が主体となって取組こと、(c) 道路整備のみが先行して行われるのではなく地元の取組と協調して実施することなどを基本として、道路管理者である岩手県が葛巻町と連携しながら、沿道環境整備とまちづくり計画をパッケージ化した計画(道路整備連動型まちづくり計画)を策定している事例を紹介されていました。



写真－8 片岡技術士(東北支部)

4 番目は、対馬技術士がリージョナルステート研究会自然科学教育分科会の出前授業の紹介を行いました。子供たちに自然や環境の大切さを理解させ、上手に利活用していく心を育てること、自然科学・科学技術のおもしろさや大切さを教え、地域産業の活性化を促進する技術者となる人材を育てることを目的に活動しており、今までに実施した教育サポートの様子を楽しそうな写真を交えながら、また、会場の笑いを誘いながら紹介していました。



写真－9 対馬技術士(北海道支部)

5 番目は、岡野技術士が新潟工科専門学校バイオテクノロジー科では遺伝子工学実習などの他、醸造学実習といった特色ある学生教育も行っているということで、県内外の清酒、ビール、ワイン醸造関係企業との共同研究などの産学連携事業も行ってきた事例を紹介されていました。鮭の目の奥のペプチドは血圧降下作用があり、高機能食品が開発できないかという研究も検討しているそうです。質疑応答の過程で分かったのですが、酒税法の壁があって共同研究が未着手のものも多くあるそうです。また、酒造免許が無くても研究・教育で許可を取っているそうです。ワインは貯蔵して経年試験体に使用しているが、ビール、酒は保存がきかないので、加えて売ることでもできないので、試験体以外は廃棄しているそうで、会場からは「もったいない」という大きな反

応が印象的でした。



写真-10 岡野技術士(北陸支部)

最後に、永田技術士が国見山廃寺周辺のまちづくりについて研究中である岩手県建設コンサルタント協会まちづくり研究会の活動(月に1～2回ボランティアで研究活動)について紹介されていました。建築士会等が主催する歴史フォーラムと地元自治会の関わり方を研究会がサポートした内容やそのプロセスについて報告されていました。



写真-11 永田技術士(東北支部)

(6) 次回開催の紹介(北陸支部)

北陸支部の森田富山県代表幹事が次回、第14回北東3支部技術士交流研修会の紹介をされました。概要は以下の通りです。

- ・日時：平成23年9月3日(土)～4日(日)
3日；式典等(13：00～17：30)、交流会(17：45～19：45)、4日；見学会(立山カルデラ砂防館など→14：00富山空港着予定)
- ・場所：ボルファートとやま(富山県富山市奥田新町8-1、TEL 076-431-1113)
- ・ホテル：ダイワロイネットホテル富山
45室仮予約(¥8,900一泊朝食付き)

3. 見学会

(1) 平泉世界遺産候補地 現地見学会

翌日(13日)は、「平泉世界遺産候補地 現地見学会」が開催され、盛岡駅から到着地仙台駅までバスで移動できるということもあって参加してきました。

平泉に向かう車中では、東北支部の岩渕技術士がVTRを使いながら平泉について詳しく説明してくださり、十分な事前レクチャーをしてくださいました。平泉着後、時間の制約から中尊寺グループと毛越寺グループの2班に分かれて見学を行いました。

私はまだ訪れたことのない毛越寺Gに加わり、特別史跡・特別名勝の二重指定を受けている日本有数の浄土庭園を見学してきました。折しもモミジの紅葉がとてもきれいで、大泉が池、遣水(やりみず)と共に平安時代の藤原氏の栄華を偲ぶことができました。昼食後、河川計画をも変更させる影響を与えた柳之御所遺跡を訪れ、一路仙台駅に向かいました。北海道に比べ、東北にはこのような歴史ある史跡・名勝など多く存在しており、羨ましく感じました。

4. おわりに

前述したように、今回は北陸支部が担当となり富山市で開催されますが、その後は北海道支部が担当で、すぐに当番が回ってきます。加えて、更にその次の年は全国大会の当番も控えております。事前に情報を得るに越したことはありませんので、この紙面を借りて皆様に見学候補地、アイデア、耳寄りな情報提供をお待ちしております。

最後に吉川東北支部長、橋本CPD委員長始め、研修会、見学会を準備・運営して下さった東北支部の皆様、村上代表幹事ほか岩手県技術士会の皆様、写真を提供して下さった佐藤新潟県代表幹事、研修発表をして下さった各技術士の皆様に感謝申し上げます。

森 隆 広(もり たかひろ)

技術士(建設/総合技術監理部門)

(社)日本技術士会北海道支部
事務局次長
株式会社 ドーコン

